

さまざまなキャラクターたちが手を
つないで、微笑みかけることで、被災
地にいる子どもたちへ笑顔と安心を届
けたい。このような願いから始まった
プロジェクト

『てをつなごう だいさくせん』

あれから六年が経ち、久しぶりに
特設サイトを開いてみた。そこには、
相変わらず、NHKのキャラクター
どーもくんやりラックマ、ミッフィ
ーたちが手をつなぐイラストが公開
されていた。「被災地にいる子ども
たち、お母さんやお父さん、若者達、
おじいちゃんにおばあちゃん。がん
ばっているみんな。日本中の人達に、
すこしでも元気になってほしい。そ
う思って、僕達は手をつなぎました。
僕達を見て、笑顔になってくれたら
うれしいです。」こんなメッセージも
掲載されている。

当初、実現不可能と思われていたプ
ロジェクトの発起人、どーもくんなど
を手がけたキャラクターデザイナーの
合田経郎さんは「キャラクターの送り
手としてこんな時こそやらなくては
いけないこと」と一念発起し、プロジェ
クトの実現に向けて尽力したそうだ。

最初は十八の参加キャラクターが、
現在は五十を超え、ドラえもん、ト
マス、ピカチュウ、アトム、くまモン
などの愛くるしいキャラクターが加わ
り、楽しく賑やかさに拍車がかかる。
さらに、この活動に賛同した榎原敬之
さんの作った歌にのせて「てをつなご
う」の動画も公開されている。
東日本大震災から六年。忘れかけて
いた当時の記憶がよみがえり、今もこ
うして特設サイトが運営されているこ
とに、私は驚いた。

一方、その当時、東北楽天ゴールデ
ンイーグルス選手会長の嶋基宏選手の
スピーチも話題になった。被災地の人
達が苦しんでいるにも関わらず、自分
達は野球を続けていていいのか、嶋選
手の自問自答は、応援するファンへの
スピーチとなった。「誰かのために闘
う人間は強い」「見せましよう野球の底
力を」「東北の底力」

詳述を避けるが、とてもインパクト
のあるスピーチとして、私は記憶して
いる。当時、この二つの出来事を知り、
私は子ども達に次のような話をした。
「人の心を動かすのは、人の強い思い
や願いであり、その思いを形にしよう
とする心、何とかしたいと願う心、そ
んな心と心がつながることで、心は豊
かになるのではないか」

こうして改めて考えると、私達は、
さまざまな出来事を通して、仲間を思
う心、感動する心、諦めない心、負け
ない心、自分を振り返る心など、たく
さんの心を育てている。一回りも二回
りも自分の心を大きく豊かに磨きをか
け、育てていきたい。

連載・青少年健全育成シリーズ 第298回

「心を育てる」

青少年への声かけ・あいさつ運動の推進
『大人も子どももすすんであいさつをしよう』

毎月第1日曜日は「家庭の日」
毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。
青少年育成都留市民会議編集委員

広告料金

掲載場所	印刷色	金額/枠	備考
裏面	カラー	20,570	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,280	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月
⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。
掲載状況は、下記をご参考としてください。
また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています
(10,500部発行)ので、多くの方の目に触れます！

問合せ：総務課 法制広報担当

広告掲載欄

広告掲載欄